

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号 27-20	学 校 高等学校	教 科 数学科	種 目 数学 I	学 年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	数 I 333	高等学校 数学 I		

1. 編修の趣旨及び留意点

数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

2. 編修の基本方針

- ①当該科目に関する知識と技能を確実に身につけ，それらを活用して思考・判断・表現する能力を伸ばすために，記述や題材に配慮した。
- ②1つの題材に対して複数の考え方があることを適宜示し，いろいろな立場を尊重する態度を養うことができるようにした。
- ③生活に関連のある題材や，数学を発展させた先人たちの業績について扱うことで，数学に対する興味・関心を高め，社会の形成・発展に主体的に関わろうとする態度を養うことができるようにした。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し 1章	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材を扱うことで，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号)。 ・本文内容を補充する内容や，学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで，幅広い知識と教養を身に付けられるようにした(第1号)。 	前見返し， p. 38 p. 13, p. 20 の 13～22 行， p. 28 の 16～19 行， p. 29 の 10～18 行， p. 30～31, p. 56～57
2章	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材を扱うことで，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号)。 ・1つの題材に対して複数の考え方を示し，他者との協力を重んずる態度を養うようにした(第3号)。 ・本文内容を補充する内容や，学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで，幅広い知識と教養を身に付けられるようにした(第1号)。 	p. 76 p. 93 p. 83～84, p. 103
3章	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材を扱うことで，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号)。 	p. 109～110

	<ul style="list-style-type: none"> • 1 つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養うようにした（第3号）。 • 本文内容を補充する内容や、学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにした（第1号）。 	<p>p. 119 の 1～5 行</p> <p>p. 121 の 9～16 行, p. 140～141</p>
4 章	<ul style="list-style-type: none"> • 1 つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養うようにした（第3号）。 • 本文内容を補充する内容や、学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにした（第1号）。 	<p>p. 156～157</p> <p>p. 157 の 9～18 行, p. 168</p>
課題学習	<ul style="list-style-type: none"> • 身近な題材を扱うことで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにした（第2号）。 • 数学の歴史に関する内容を扱い、数学を発展させた先人たちの業績に触れることで、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした（第5号）。 	<p>p. 172～177</p> <p>p. 174</p>
4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
<ul style="list-style-type: none"> • 本文内容を補充するページや、学習内容の理解を深めるための発展的なページでは、前小口に着色して、通常のページと明確に区別できるようにした。 		

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 担当授業時数表)

※受理番号 27-20	学 校 高等学校	教 科 数学科	種 目 数学 I	学 年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	数 I 333	高等学校 数学 I		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 数学のよさが認識できる教科書

- ・ 数学的な見方や考え方のよさが感得できるよう、例題を豊富にした。重要な例題については、背景にある着想や根拠などを示した。また、節末問題、章末問題では、応用力を高めるための問題も扱うようにした。
- ・ 生活に関連のある題材を扱い、数学に対する興味・関心を高められるようにした。
- ・ 1つの題材に対して複数の考え方があることを適宜示し、数学の考え方の多様性に触れられるようにした。
- ・ 数学的活動を通して数学のよさが認識できるよう、題材を工夫した。
- ・ 数学の歴史に関する内容を見返しなどで扱い、数学を発展させた先人たちの業績やその背景に触れられるようにした。

(2) 指導者にとっては指導しやすく、学習者にとっては理解しやすい教科書

- ・ 簡潔で正確な記述を心がけた。必要に応じて、本文や解答を補足するための注釈を置いた。
- ・ 定義、用語・記号、公式、定理は、過不足なく扱うようにした。
- ・ 学習内容を定着させ、理解を深めるための例題や問題を、過不足なく扱うようにした。例題の解答は模範的なものとし、表現力を身につけられるように配慮した。
- ・ 本文内容を補充する学習事項を豊富に扱い、興味・関心に応じて選択できるようにした。
- ・ 学習内容の理解を深めるために、数学 I の学習指導要領に示されていない内容も扱うようにした。
- ・ 中学校の学習を引き継ぐ内容については、接続がスムーズになるように配慮した。

(3) ビジュアル面を工夫した、読みやすい教科書

- ・ ユニバーサルデザインフォントを採用し、読みやすさの向上に努めた。
- ・ レイアウトを工夫して、紙面をすっきりさせた。
- ・ 公式などの重要事項は、太字にしたり、枠で囲んだり、表にまとめたりして、強調するようにした。
- ・ 本文をカラーにしたり、図版・イラスト・アミ版などを適切に掲載したりして、視覚的な効果にも配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1章 数と式 1節 式の展開と因数分解 2節 実数 3節 1次不等式 4節 集合と論理	(1) 数と式 ア 数と集合 (ア) ア 数と集合 (イ) イ 式 (ア) イ 式 (イ)	p. 4 - 59	29
2章 2次関数 1節 関数とグラフ 2節 2次方程式・2次不等式	(3) 二次関数 ア 二次関数とそのグラフ イ 二次関数の値の変化 (ア) イ 二次関数の値の変化 (イ)	p. 60 - 105	24

3章 図形と計量 1節 三角比 2節 図形の計量	(2) 図形と計量 ア 三角比 (ア) ア 三角比 (イ) ア 三角比 (ウ) イ 図形の計量	p. 106 - 143	18
4章 データの分析 1節 データの分析	(4) データの分析 ア データの散らばり イ データの相関	p. 144 - 169	11
課題学習	課題学習	p. 170 - 177	8
		計	90

※年間授業時数を 90 時間として配当している。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-20	高等学校	数学科	数学 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	数 I 333	高等学校 数学 I		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項
13	3次式の乗法公式	1	(1) 数と式 「式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。」
20	3次式の因数分解の公式	1	(1) 数と式 「式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。」
28	3次式の値の計算	1	(1) 数と式 「簡単な無理数の四則計算をすること。」
31	二重根号	2	(1) 数と式 「簡単な無理数の四則計算をすること。」
57	「すべて」「ある」を含む命題	2	(1) 数と式 「集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること。」
103	放物線と直線の共有点	2	(3) 二次関数 「二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解する。」
141	ヘロンの公式	2	(2) 図形と計量 「三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。」

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 7)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容